

## 応募総数史上最多6,554作品の頂点 「第20回電撃小説大賞」受賞作 メディアワークス文庫より 3作品同時発売！

株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:佐藤辰男、ブランドカンパニー長:塚田正晃、以下アスキー・メディアワークス)は、2013年10月に受賞作品を発表した小説公募新人賞「第20回電撃小説大賞」の大賞1作品、金賞1作品、メディアワークス文庫賞1作品の計3作品を、2014年2月25日(火)、メディアワークス文庫より発売いたします。

「電撃小説大賞」は、アスキー・メディアワークスが次代を創造するエンターテイナーの発掘・育成を目的に主催しております「電撃大賞」の小説部門賞で、第20回では史上最多6,554作品の応募が寄せられ、昨年に引き続き<大賞>受賞作が2作品選出されました。2月8日(土)に電撃文庫より発売された5作品と同様、<大賞><金賞><メディアワークス文庫賞>受賞の3作品も、いずれも選考委員から高い評価を受け、全応募作品の頂点に輝いた作品です。メディアワークス文庫より作家としてデビューする3人の新人作家と作品にご注目ください。

### ■「第20回電撃小説大賞」メディアワークス文庫より発売の受賞3作品概要



電撃小説大賞<大賞>受賞作

#### 博多豚骨ラーメンズ

著/木崎ちあき 定価:本体550円+税

人口の3%が殺し屋の街・博多で、生き残るのは誰だ——!?

福岡は一見平和な町だが、裏では犯罪が蔓延っている。今や殺し屋業の激戦区で、殺し屋専門の殺し屋がいるという都市伝説まであった。

福岡市長に雇われた殺し屋・宗方、麗子、紫乃原、イワノフの四人は、市長にとって邪魔な人間を排除し、彼の立場を守るため仕事する。華九会に雇われている殺し屋・林は、借金を返済し、祖国の家族の元へと帰るため罪を犯す。殺人請負会社で働く新人・斉藤は、ようやく任された仕事で下手を打つ。探偵事務所を営む馬場は、刑事の重松から市長の悪事を暴くよう依頼され、情報を集める。復讐屋のジローは依頼とともに復讐を遂行する。

市長選の背後に潜む政治的な対立と黒い陰謀が蠢く事件。そして悪行が過ぎた時、『殺し屋殺し』は現れる——。

©2014 CHIAKI KISAKI / KADOKAWA CORPORATION



電撃小説大賞<金賞>受賞作  
**僕が七不思議になったわけ**

著／小川晴央 定価：本体550円＋税

二度とない青春の中で、二度目のキミと出会った——

石橋を叩いても渡らない心配性の高校生・中崎夕也はある夜、七不思議を司る精霊・テンコさんと出会う。深夜の校庭に桜が舞い散る中、宙に浮かぶ袴姿の彼女は、高らかに不吉な言葉を彼に投げかけるのだった。

「おめでとう、今この瞬間、この学校の新しい七不思議にお主は選ばれた」

なんと彼は七不思議の引き継ぎに、仮登録されてしまったのだ！そしてとまどいながらも、テンコとともに学校で起こる事件を解決していくことになるのだが……。

七不思議の一つとなった少年の日々を綴った、思わずもう一度読み返したくなるミステリアス・ファンタジー。

©2014 HARUO OGAWA / KADOKAWA CORPORATION



電撃小説大賞<メディアワークス文庫賞>受賞作

**C.S.T. 情報通信保安庁警備部**

著／十三 湊 定価：本体570円＋税

神を名乗る無差別殺人犯を追う、情報通信保安庁の精鋭部隊。犯人とのスリリングな駆け引きと、個性的な隊員たちの活躍が熱い！

遠くない未来。世界では、脳とコンピュータを接続するブレイン・マシン・インターフェイス、通称BMIが一般化。

ときを同じくして、領土問題を発端として起こった東アジア危機により海外から苛烈なサイバー攻撃にさらされた日本政府は、サイバー空間の治安確保を目的に「情報通信保安庁」を設立する。

だが、その十八年後、それを嘲笑うかのように、神を名乗る謎の犯人によってコンピュータ・ウィルスを使った無差別大量殺人が発生。家族が被害を受けた警備部第一部隊班長・御崎蒼司は必死の思いで、浅井忍ら部隊の仲間たちとともに犯人のわずかな手掛かりを追う。犯人は誰なのか？ そして、その目的はいつい？

©2014 MINATO TOSA / KADOKAWA CORPORATION

■**宣伝・販促展開について**

第20回電撃小説大賞の受賞作品発売に合わせ、ポスター掲出やキャンペーンを実施いたします。

★2月24日（月）～3月2日（日）

福岡県博多エリア26駅に、駅貼りB0判ポスターを掲出予定

天神、大宰府、甘木、大牟田、貝塚ほか西日本鉄道・天神大牟田線、貝塚線にて掲出。

★書き下ろしサイドストーリー公開

メディアワークス文庫公式サイトでは、受賞作品をより楽しむための書き下ろしサイドストーリーを2月25日（火）より無料で公開いたします。

『博多豚骨ラーメンズ』の書き下ろしサイドストーリー

『とあるバリヤワの独白 ～博多豚骨ラーメンズ外伝～』 木崎ちあき

『僕が七不思議になったわけ』の書き下ろしサイドストーリー

『僕が七不思議になったわけ プチ春の章』 小川晴央

『C.S.T. 情報通信保安庁警備部』の書き下ろしサイドストーリー

『C.S.T. 情報通信保安学校の春』 十三 湊

メディアワークス文庫公式サイトURL: <http://mwbunko.com/>

## ★第20回電撃小説大賞受賞作の魅力が詰まった特設サイトを公開中！

### ▼▼▼ 特設サイトのここに注目！ ▼▼▼

- ◎作品に登場するキャラクター説明や推薦コメントの掲載、キーアイテムの解説など、作品の個性が表れた「作品紹介」ページを作成しました！
- ◎試し読みページを大ボリュームで公開中！  
※『給食争奪戦』は短編のため試し読みはありません。
- ◎電撃小説大賞受賞作品初！ 作品の魅力がダイジェストされたプロモーションビデオを配信中！



↑ 第20回電撃小説大賞特設サイトトップページ

- 第20回電撃小説大賞特設サイトURL: <http://asciimw.jp/award/taisyo/20th/>
- 電撃小説大賞公式Twitterアカウント: @dengeki\_taisho

## ★電撃文庫より2月8日発売の「第20回電撃小説大賞」受賞5作品も好評発売中！

### <大賞>受賞作

『ゼロから始める魔法の書』 著／虎走かける イラスト／しずまよしのり

### <金賞>受賞作

『顔が織り成す召喚魔法 -バスタ・リリッカーズ-』 著／真代屋秀晃 イラスト／x6suke

### <銀賞>受賞作

『王手桂香取り！』 著／青葉優一 イラスト／ヤス

『思春期ボーイズ×ガールズ戦争』 著／亜紀坂圭春 イラスト／ぎん太郎

### <20回特別記念賞>受賞作

『水木しげ子さんと結ばれました』 著／真坂マサル イラスト／生煮え

## <ご参考>

### ■「電撃大賞」とは

1993年、作家・イラストレーターの新人登竜門「電撃ゲーム3大賞」としてスタート、第12回(2004年度募集)より「電撃大賞」に改称されました。受賞作品の多くは「電撃文庫」として出版されており、第16回受賞作品からは、「メディアワークス文庫」としても作品を刊行しております。小説部門の「電撃小説大賞」からは多くの人気作家を輩出し、『ブギーポップは笑わない』(著／上遠野浩平・第4回大賞)、『灼眼のシャナ』(著／高橋弥七郎・第8回選考委員奨励賞)、『図書館戦争』シリーズ(著／有川浩・第10回大賞)、『境界線上のホライゾン』(著／川上稔・第3回金賞)、『デュラララ!!』(著／成田良悟・第9回金賞)、『アクセル・ワールド』『ソードアート・オンライン』(著／川原礫・第15回大賞)などの人気作品が生まれてきました。2013年度は、『はたらく魔王さま!』(著／和ヶ原聡司・第17回銀賞)がTVアニメ化され、『ロウきゅーぶ!』(著／蒼山サグ・第15回銀賞)のTVアニメ第2期が放送、10月からは『ストライク・ザ・ブラッド』(著／三雲岳斗・第5回銀賞)のTVアニメが放送開始となり、多くの作品が小説だけに留まらず、アニメ、コミック、実写映画、ゲーム、舞台など、さまざまなメディア展開を行っています。

イラスト部門の「電撃イラスト大賞」受賞者も文庫のイラストなどを多数手がけており、メディアワークス文庫『ビブリア古書堂の事件手帖』(著／三上延、イラスト／越島はぐ・第15回銀賞)、『ドラフィル!』(著／美奈川護・第16回金賞、イラスト／富岡二郎・第17回選考委員奨励賞)、『心理コンサルタント才希と心の迷宮』(著／似鳥航一、イラスト／三村勇貴(受賞時ペンネーム hakus)・第18回大賞)、『博多豚骨ラーメンズ』(著／木崎ちあき、イラスト／一色箱・第20回大賞)、電撃文庫『我が妹は吸血鬼である』(著／小鹿野君則、イラスト／zpolice・第19回金賞)など、目覚ましい活躍を見せております。電撃イラスト大賞については、第19回よりこれまでの郵送応募に加え、より多くの方にご応募いただけるよう、ウェブから作品をアップロードし応募する方法も加えております。第21回電撃大賞は、現在作品を募集中です。小説・イラスト部門は2014年4月10日締切(当日消印有効)、コミック部門は2014年5月30日締切(当日消印有効)です。第20回より各賞の賞金額を増額いたしました。

- 電撃大賞公式ホームページ: <http://asciimw.jp/award/taisyo/>



## ■「メディアワークス文庫」とは

2009年12月創刊の、アスキー・メディアワークスが贈るエンターテインメント・ノベル。恋愛、ミステリー、歴史など、さまざまなジャンルの小説を刊行しています。メディアワークス文庫からは、シリーズ累計550万部を突破した『ビブリア古書堂の事件手帖』（三上延）、『0能者ミナト』（葉山透）、『探偵・日暮旅人』シリーズ（山口幸三郎）などのヒット作品が生まれています。毎月25日発売。

●メディアワークス文庫公式サイト：<http://mwbunko.com/>

## ■「電撃文庫」とは

1993年6月創刊、2013年に創刊20周年を迎えたエンターテインメント・ノベル レーベル。「電撃文庫」ではこれまで、ファンタジー、SF、ミステリー、ホラー、ラブコメなど、ジャンルを問わないオリジナルなエンターテインメント作品を刊行してまいりました。劇場映画が大ヒットした『とある魔術の禁書目録（インデックス）』（シリーズ累計1,480万部）をはじめ、『灼眼のシャナ』（同860万部）、『キノの旅』（同785万部）、『俺の妹がこんなに可愛いわけがない』（同500万部）、『デュラララ!!』（同470万部）、『アクセル・ワールド』（同380万部）、『ソードアート・オンライン』（同870万部）、『さくら荘のペットな彼女』（同180万部）など、数多くの大人気シリーズを生み出しています。現在活躍中の人気作家の多くは、創刊と同年にスタートした作家・イラストレーターの新人登竜門「電撃大賞」より誕生しています。アニメ、コミック、実写映画、ゲーム、音楽など、さまざまなメディアミックス展開も行っており、「電撃文庫」は幅広い層の方々に楽しんでいただいております。毎月10日発売。

●電撃文庫公式サイト：<http://dengekibunko.dengeki.com/>

●電撃文庫創刊20周年大感謝プロジェクト：<http://dengekibunko.dengeki.com/20th/>

## ■アスキー・メディアワークス ブランドカンパニーとは

アスキー・メディアワークスなど事業会社8社が、KADOKAWA合併後もそれぞれのブランドのもとで自由に事業を展開、発展させていくための新しい組織概念が『ブランドカンパニー』です。

アスキー・メディアワークス ブランドカンパニーは、「電撃」「アスキー」「魔法のいらんど」の3つのブランドを軸に、エンターテインメント分野を中心とした事業を展開。出版を基盤に、ウェブ・モバイル、電子書籍、アプリ、映像、音楽、グッズ、ゲーム、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。

●KADOKAWAオフィシャルサイト：<http://www.kadokawa.co.jp/>

●アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー 公式サイト：<http://asciimw.jp/>

※2013年10月1日、株式会社アスキー・メディアワークスは株式会社KADOKAWAと合併しました。

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー  
事業推進部

TEL: 03-5216-8123 FAX: 03-5216-8124 E-mail: [amw-pr@ml.kadokawa.jp](mailto:amw-pr@ml.kadokawa.jp)